



舟山邦夫 議員

## Q 急げ船岡保育所建設を

**A** 平成17年度建設に向け  
努力する

**問** (1) 平成7年に、船岡保育所・むつみ学園建設用地として約2億6千万円で船岡新栄2丁目地内に土地を取得したが、今だに建設せず。

それとは別に、現在の船岡保育所用地に対し、平成7年度から15年度までの9年間だけでも約4千100万円の借地料を払っている。これは税金のむだ遣いではないのか。

(2) 船岡保育所の雨漏りは、限度を超えている。どう対処するのか。  
(3) 保護者から、保育所らしい色に外装を塗り替えてほしいとの声があるがどう考えるか。  
(4) これらを踏まえ、市民の望む保育所の建設を急ぐべきと思うがどうか。

**答** 滝口町長 (1) 厳しい財政事情により、すぐに建設できず、現在も借地料を払っている状況にあります。

ご指摘のとおり、早く保育所を建設し、借地契約を終了できるよう努めてまいります。

(2) (3) 雨漏りについては昨年、保育業務に支障がないよう修繕したが、外

装については、建設を予定しているため、大きな修繕ができないことをご理解願います。

(4) 財政状況が苦しいため、予算措置ができない状況にあるが、建設時から30年たち建物の劣化が進み、限界に達してしま

す。平成17年度補助採択に向けて県と協議中です。



老朽化が激しい船岡保育所



加藤徳廣 議員

## Q 子供たちの理数離れに歯止めを

**A** 少年時代の教育・人間形成が優先



創造性をはぐくむ学習田

**問** 何でも吸収する時こそ学ぶ意欲を高め、興味を起こさせ、理数離れをくい止めようと、日本理数学会が出前授業を制度化されました。北は北海道大学から南は九州大学までの大学教授や80人の

講師がこの会に登録されており、出前授業をあらゆる分野での活用にと望んでおるようでございます。

(1) この出前授業を教育の場に取り入れる件についてお伺いいたします。

(2) 子供たちの興味を引く角田宇宙推進技術センターがあり、多くの学者がロケットの研究に努力されており、この学者の出前授業もお伺いいたします。

**答** 太田教育長 西澤教授の講演会において、「特に小中学校の教育の中では何よりも礼儀やしつけ、そこから日本の伝統的な文化、そして特に日本語の基礎的な力をしっかりと教えること、そういう

基礎が身につけていると、文化的にも科学的に創造的な人間が育つのです」という話を伺いました。

(1) 出前授業については日本理数学会では多くの有効なものがありますので、趣旨にそって各学校にそ

の活用を指導してまいります。

(2) センターの活用については、議員提案のとおり非常に有効なことだと思いますので、校長会で資料を添えて指導していきます。